



2017-2018年度

クラブ運営方針 ▶ 「温故創新」

# 広島北ロータリークラブ週報

ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

Vol. 1540  
2018年3月8日発行

Rotary  
Club of Hiroshima North



広島北ロータリークラブ

■会長 東 正治

■幹事 越智 健剛

事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/

設立 1969年4月24日 承認 1969年6月28日  
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

## 本日の例会 2018年3月8日(木) 第2347回

ロータリーソング 「われらの生業」  
 来客紹介 親睦委員会  
 連続出席表彰  
 会長時間  
 幹事報告  
 誕生会員お祝い  
 委員会報告  
 同好会報告  
 卓話時間  
 『年男の弁 Part3』  
 中山 昌実 会員 / 桑村 守 会員 / 川上 武 会員

## 前回の例会 2018年3月1日(木) 第2346回

国歌斉唱  
 ロータリーソング 「奉仕の理想」  
 来客紹介 親睦委員会  
 四つのテスト唱和 職業奉仕委員会  
 会長時間  
 幹事報告  
 委員会報告  
 同好会報告  
 卓話時間  
 『年男の弁 Part3』  
 中山 昌実 会員 / 桑村 守 会員 / 川上 武 会員

## ●●●●●●●●●● 米山奨学生終了報告 ●●●●●●●●●●



昨年4月から地区米山奨学生として当クラブがカウンセラークラブを担当しました。オトゴントール テルメン君(モンゴル)の奨学期間が終了し、この日が最後の例会出席となりました。クラブから記念

品を贈り、テルメン君からご挨拶をいただきました。また、カウンセラーの石井会員には1年間テルメン君のお世話をお引き受け頂き、ありがとうございました。

こんにちはロータリー米山奨学生オトゴントール テルメンです。私は子供の頃から日本の文化である、漫画やアニメ、映画などを観て、日本語に興味や関心を持って育ちました。高校を卒業して日本に留学をしたのもこれがきっかけとなったと思います。飛び級をして16歳で高校を卒業が出来、親と相談をして日本へ留学をする事が出来てとても嬉しかったです。どうしても日本に留学をしたかつ

た理由は先進国で学ぶことで、アジアだけではなく、世界でも求められる人材になって、モンゴルの経済発展や日本とモンゴルの関係をよりよくする目標を達成出来る事と、または私は自分の親にこれ以上負担を掛けたくなかったので、日本に来て自分の力で生きていきたいと考えていたからです。

初めて日本に来て日本語学校に通いながら、アルバイトを始めて自分で生活費や学費を稼いで2年半の間過ごしました。自分の親がどれだけ頑張っていたのもよく理解をしました。毎日が普通に特に楽しい思い出もなく友達もいませんでした。ですが、米山ロータリー奨学金制度をある日先生に紹介して頂いて、もしこんな私でも選ばれるチャンスがあるのなら少し希望を持って、緊張いっぱい面接を受けました。それでやっと合格が出来たととても嬉しかったです。

初めての例会では、自分のカウンセラーの人はどんな人だろう、広島北RCの皆様はどんな人達だろう、難しいこといっぱい聞かれたらどうしようなどとたくさん心配をしていましたが、出席を試みたとき、みんな優しい顔をしている人たちで、とても親切で、私のことやモンゴルのことについてたくさん興味を持って聞いてくださったり、日本の文化やカーブを一緒に見に行ったりして野球のルールなどもたくさん教えてくださいました。私より何倍も上で、素晴らしいのに、まるで家族のようにお話を出来るととても嬉しくて、安心しました。



それで、緊張することもなく会話ができるようになりました。とても楽しくていい人ばかりの集まりだなと思っています。米山奨学金を頂いて、私は今の学校で勉強にもっと集中できるようになり、勉強をしている科目の資格検定なども取ることが出来て、学校生活も楽しく過ごせるようになりました。クラスの人たちとも交流をする時間が出来て、友達もたくさん作ることが出来ました。世界中の困っている人に助けてあげるのが優しくて心の豊かな人になんか出来ないことだと思います。私もこれからロータリーの皆様と同じような立派な人になるために一生懸命頑張っていきたいです。

来月から米山奨学生ではなくなりますが、米山学友になれますので、ぜひ色々な活動に参加させて頂きたいと思っており、これからもロータリーの皆様と仲良くしていきたいです。本当にありがとうございました。

## ●●●●●●●●●● 会長時間 会長 東 正治 ●●●●●●●●●●

3月は「水と衛生」月間です。当クラブではカンボジア、そして本日理事会で承認されましたネパールへのトイレの設置等の事業を国際奉仕委員会と青少年奉仕委員会の合同で行っております。奉仕プロジェクト外島本理事、そして国際奉仕の小林委員長、青少年奉仕の合田委員長をはじめ各委員会のみなさん、どうぞよろしくお願





桑村 守 会員  
1958(S33)年6月生れ

【年男・年女の意味】  
年男・年女は十二支によって決まります。

干支によって決まるんじゃないの？と思う人もいるかもしれません。

干支というのは十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を合わせたものを意味します。詳細は省略しますが私たちがよく「干支」と言っている「子・丑・寅・卯・辰・巳」などは十二支です。

年男は生まれた年と同じ十二支を迎えた男性、年女は生まれた年と同じ十二支を迎えた女性の意味です。

十二支は12年でひと回りですから誕生日に満年齢が12の倍数になる人ですね。

【年男・年女は他の干支より縁起が良いの？】  
縁起が良いという考え方や悪いという考え方や両方あります。

ただ概ね縁起が良いと考える地域が多いようです。「年男おめでとう」などという挨拶を聞いたことがある人もいないかもしれませんね。

なぜ縁起が良いのかという年男・年女はその年の歳神様のご加護を多く受け取ることができると考えられているためです。

今でも年男が重要な役割を担うと定められている神事や儀式は沢山あります。

節分の豆まきや門松を立てる役目は年男と決まっている地域もあるんですよ。

【年男・年女が縁起をよりよくする方法とは？】  
年男だから年女だからといって「縁起を担ぐ」という風習はあまり多くありません。

でも十二支にちなんだ縁起担ぎは昔から多くあります。

例えばその年の十二支を身につけることで「無病息災・厄除祈念」としたり、家に飾ることで「家内安全・商売繁盛」、人に授けることで「招福祈願・安寧長寿」のお守りとする風習があります。初詣に神社に行くと、その年の干支のお守りや置物が授けられるのはその為なんです。



川上 武 会員  
1958(S33)年8月生れ

皆さま、こんにちは。本日三番手の川上でございます。

駆け出しローリアンの私が、このような晴れがましい場所で年男の

弁を垂れるのもまことに気恥ずかしく、また既に、3月の声も聞いており不思議な気持ちですが、恒例のプログラムでありますので、暫くの間、ご容赦願います。

さて、「年男の抱負」についてですが、先ず職業人としては、幸運にも経営者の端くれで第一関門を通過予定でありますので、私の2018年問題は取り敢えずクリアいたしました。

ただ、会社の同期の連中には、当の昔に関連会社やお取引先に出向しまったりとした人生を送っている者、あるいは恵まれていれば不動産で食っている者もいたりして、それこそ千差万別ですが、ここにおいでのお客様やさむらい業、またドクターの皆様と比べれば、同じ年代でも随分と勿体ない毎日を送っているような気がしてなりません。もちろん、人それぞれで、他人がとやかく言うべきことではありませんが。

その上で恥を晒すようですが、今年は是非とも我が社の若手職員の早期離職者を減らすよう、もしかしたら、我が社への最後の貢献をいたしたいと思っております。

残念ながら、私どもも俗に言う「3-3」ルールを踏襲しており、年間暇掛けて採用した学生が3年で3割以上は辞めてしまいました。地元出身者が幅を利かすローカルバンクは定着率が極めて高いのが唯一の取り柄でしたが、若者が再就職先に困らないここ数年、早期に離職してしまう傾向が顕著になってきました。それを、彼らが「ゆとり教育の本格化世代」であるから、などと外部要因に求めるのは簡単です。しかし、どう考えても私どもが内包する問題に他なりません。

あと残り個人的な抱負ですが、私は趣味に何をやっても長続きしません。「今は仕事で一杯一杯だから良いけど、リタイアしたら一巻の終わり、認知症予備軍です。そうならないように、今から趣味を作りなさい」と相方から言われ続けている、世の多くの旦那の一人です。

そうした中、唯一、趣味的なことと言えるのが「大東亜戦争の戦争遺跡巡り」です。海外は言うに及ばず、戦後70年以上を経た現在においても、国内には数多くの戦争遺跡が残っています。

子供の頃、遊び場にしていた尾長山の山頂には高射砲の台座があり、また高校へは陸軍被服廠の横を通学路にしていたりと、何か独特の哀愁を漂わせている戦争遺跡あるいは戦争遺構に、私は不思議な感覚や興味が湧いて仕方ありませんでした。その場所で、私なりに鎮魂の思いを念じると、気のせいでしょうが、そこを通り過ぎて行った将兵や銃後の人々と強い交わりみたいなものを持てるような気がしました。

その不思議な感覚がきっかけとなり、高校生くらいから戦争遺跡や遺構を懲りもせず一人訪ね歩いております。どうしても西日本が多くなりますが、例えば昨年の夏休みは宇佐神宮で有名な、大分県宇佐市にある海軍宇佐航空隊の跡地に佇む、宇佐掩体壕に行ってきました。航空基地の掩体壕とは、コンクリート製で通常は蒲鉾型をした戦闘機の格納庫のことで、興味の無い人にとっては何の変哲も無い劣化したコンクリートの塊です。宇佐基地の場合、戦闘機の形にくり抜いたコンクリート製格納庫の上部に芝を植栽して偽装し、米軍の空襲から虎の子の戦闘機を守りました。圧倒的な物量で本土を焼き尽くそうとしていた米軍に対し、本土防衛のための直掩機一機一機をそうまでして守ろうとした執念には頭が下がる思いがしますし、一方である意味、悲しくもなってきました。

もちろん、徳山沖に浮かぶ大津島の間人魚雷「回天」の訓練基地であったり、鹿児島島の知覧基地なども訪れた人の心を激しく揺さぶりますが、私は余り有名ではない、いわゆるストーリー性のないものに惹かれてしまいます。

映像付きでの説明ではないですから、私が何を言わんとしているかなかなかお分かりになりにくいでしょうが、普通の人からすれば良く理解できないものでも、私の興味は尽きません。あれやこれやで、今年からは戦争遺跡巡りを加速して、西日本のものは本当にリタイアするまでには制覇したいと考えています。ご清聴、有り難うございました。

■出席報告 出席委員会

2018年3月1日(木) 会員数 96名

出席 74名 欠席 22名

来客 1名 ゲスト 1名

2月8日例会 修正後出席率 100%

■来客者紹介 親睦委員会

中尾 文治 様(広島陵北)

ホゴントール テル君(米山奨学生)

■次回例会 2018年3月15日(木)12:30~

卓話『年男の弁 Part4』石井清司会員/吉永征史会員

『新会員自己紹介』松本文彦会員

食事:洋食